



中高生みらい議会は 「総合的な学習／探究の時間」の学びを社会に届ける実践の場

本取組は、「総合的な学習の時間／探究の時間」での学びを、市への提言という形でまとめる実践の場でもあります。これまでの地域学習や探究的な学びの中で、生徒たちは自分の目で地域を見つめ直し、課題解決に取り組んできたはずです。その中で「自分自身では解決できないけれど、市が一丸になれば土佐清水市をよりよく変えられるのではないだろうか」と思う場面もあったことでしょう。そんな熱い思いを市にぶつけてみましょう！



「提言」とは？

単なる質問や要望ではなく、「地域をこう変えていきたい」「こうすればよりよくなるのではないか」という自分たちの考えやアイデアを、市に向けて具体的に伝えることを意図しています。

予算や費用対効果などの実現可能性も意識しながら、地域や市民の立場に立って、調べ、考え、話し合いを重ねて、“未来の土佐清水市”に向けた建設的な提案を目指します。



実現しそうな「提言」も！

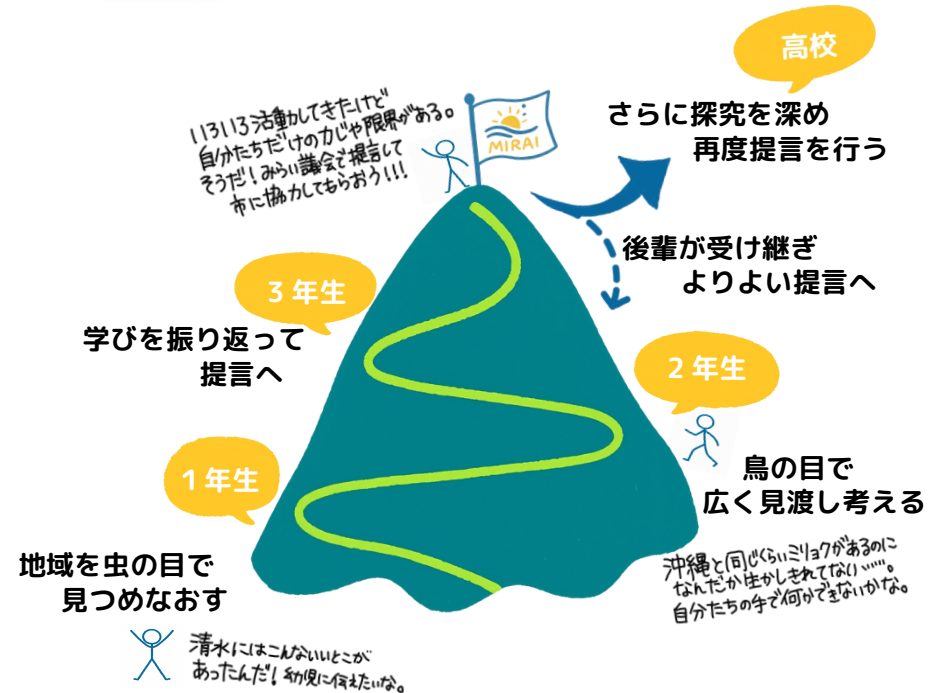
例年、視点や発想が良く、もう一步調査や打ち合わせを重ねて具体性を高めることで、実現可能性がぐっと高まりそうな提言があります。市との事前のやりとりなど、工夫次第でさらに前進できそうです。

中高生みらい議会

みらい議会とは中学生・高校生が地域の課題や未来について考え、市議会の場で市長や担当課長に向けて「提言」を行う取組です。土佐清水の未来をつくる若者たちが、自分の意見を自分の言葉で伝え、まちづくりに関わっていくことを目的としています。



土佐清水市における探究的な学びのイメージ 探究の“らせん”がたどり着く場所——みらい議会



◆指導の際には、過去の提言事例や市からの答弁なども参考にしてください。後日委員会 HP にも掲載する予定です。

◆これまでの学びの集大成として生徒が抱いた思いや願いを表現できるよう、ご支援をお願いいたします。あわせて、より実現性のある内容となるよう、アドバイスや選考などのご助言もお願いいたします。

なお、5月上旬までに提言内容を市と打ち合わせをしていただけますと、市側から助言が可能となり、より実現に近づく提言づくりにつながります。

教育長より

「学びをまちへ」つなぐ新たな教育のかたちをめざして

私は「みらい議会」を、単なるイベントではなく、子どもたちの学びの集大成となる場にしたいと考えています。中学校・高校それぞれの総合的な学習・探究の時間を通じて、生徒たちは地域をじっくり見つめ直してきました。そうした学びの中で生まれた思いや気づきを、市に向けた提言という形で表現し、まちをよりよくしていくきっかけになればと願っています。

そのためにも、単にインターネットで得た情報や、十分な検討を経ていないアイデアをそのまま提言にするのではなく、生徒自身が土佐清水市の「人・もの・こと」と関わり、実際に調べ、考え、行動してきた経験に基づいて提言を構築してほしいと考えています。誰かに任せるのではなく、自ら地域に関わった実感を持ち、自分の言葉で根拠をもって語る——そんな主体的な発信を目指してほしいと願っています。

また、本市は中高一貫の体制をとっており、中学校で育まれた課題意識や探究のテーマを高校でさらに深めていくことも可能です。加えて、先輩が取り組んだ内容や残された課題を、次年度の後輩たちが引き継いでいくこともできます。こうした学びの積み重ねや連続性によって、提言活動が一過性のものにとどまらず、継続性と発展性を持った取組として根づいていくことを期待しています。

「みらい議会」が、子どもたちの「今までの学びの集大成」かつ「次の世代へのバトン」となるよう、大人たちも一緒に支えていきましょう。

